

粉じん・侵食防止剤

ストーンウォールのご紹介

令和4年9月9日
株式会社 吉浦

目次

01



ストーンウォールとは

02



使用方法

03



施工経歴

04



安全性

ストーンウォールとは

散布車や噴霧器で簡単に粉じん・浸食防止施工ができる液体製品です。
水で希釈して散布し、長期にわたり耐水性と耐風性を保持するため、
コストと時間の大幅な削減が可能となります。



荷姿(1,000Lタンク)



原液(緑色乳状液体)



固化層断面(表面下1~1.5cm)

ストーンウォールの特徴

粉じん飛散防止



ストーンウォールに配合されている丈夫な高分子ポリマーにより、地表面を固化・安定化させ粉塵飛散を抑制します。

雨裂浸食防止



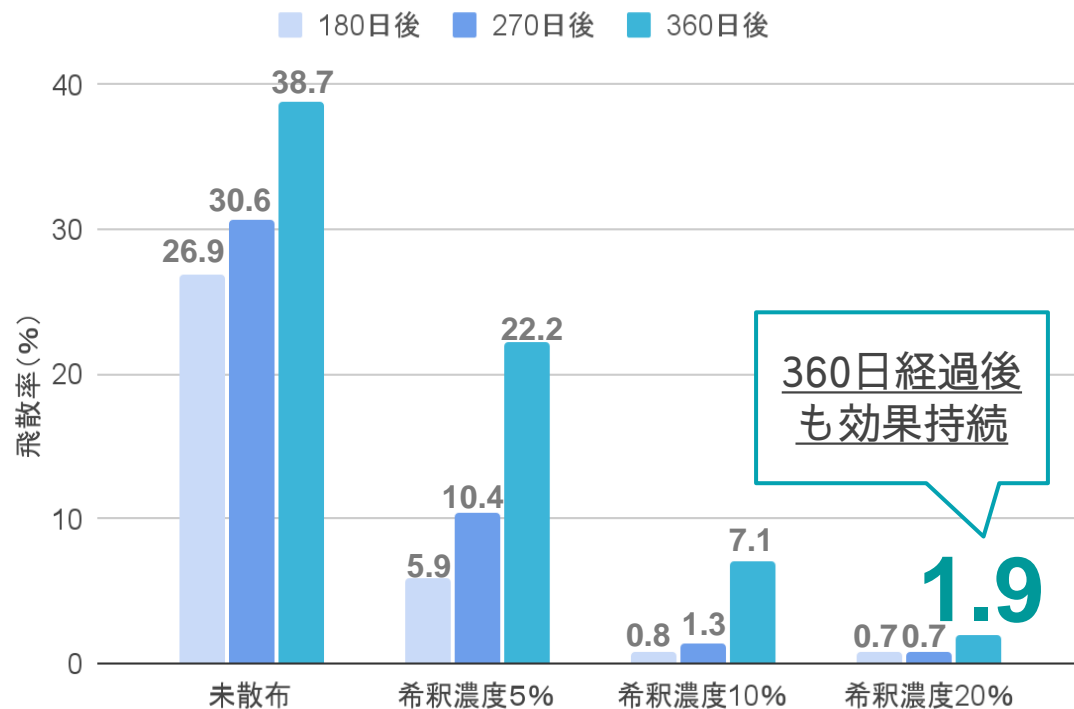
雨水等によって発生する浸食を抑制します。造成工事の際に必要な、浸食部分の復旧にかかるコストの軽減が可能となります。

法面の保護











法面に使用することにより、「雨裂の防止」「崩壊の防止」に効果を発揮します。

粉じん飛散防止・耐浸食性能試験



経過日数360日後において、希釈濃度20%は未散布と比較し**約20倍の飛散抑制・耐浸食効果**が確認されました。

粉じん防止従来技術との比較

技術名	従来技術	新技術
	シート被膜処理	ストーンウォール
経済性	 839,049円/3,000㎡ 直工費：280円/㎡	 380,114円/3,000㎡ 直工費：127円/㎡ ※希釈濃度5% 54.7%削減
作業安全性	 転落の危険性あり	 法面などに上がらず 安全な場所で散布可能
環境	 廃棄シートが発生	 安全性に関する試験を実施
施工期間	 4日/3,000㎡ シート廃棄作業が発生	 1日/3,000㎡ 3日間短縮

目次

01



ストーンウォールとは

02



使用方法

03



施工経歴

04



安全性

使用方法

1 散布する機材（散布車、背負動噴等）のタンクに、水を1/4～1/2ほど投入します。

2 ストーンウォールを希望の希釈率になるようにタンクに加えます。

3 残りの水をタンクに投入します。

4 水とストーンウォールを混ぜ合わせます。

5 希釈液を1L/m²で散布します。

6 散布地表面は散布から6時間程度で固化を開始し、24時間程度で固化が完了します。



散布車



背負動噴

推奨希釈濃度及び希釈液散布量

施工対象	平地	法面
希釈濃度	10%	20%
直工費 (施工面積：3,000㎡)	202円/㎡	352円/㎡
希釈液散布量	1L/㎡	
散布回数	1回	
効果継続期間	10ヵ月～12ヵ月	

目次

01



ストーンウォールとは

02



使用方法

03



施工経歴

04



安全性

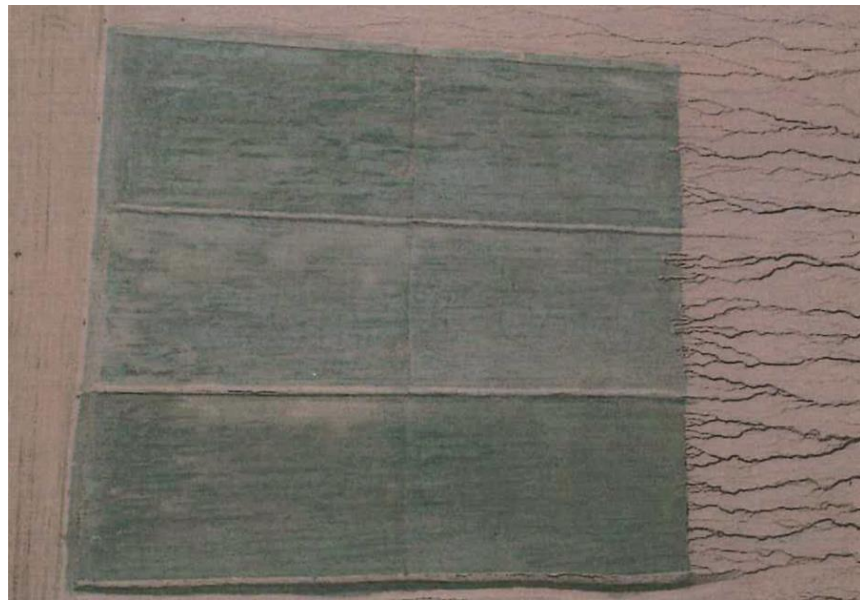
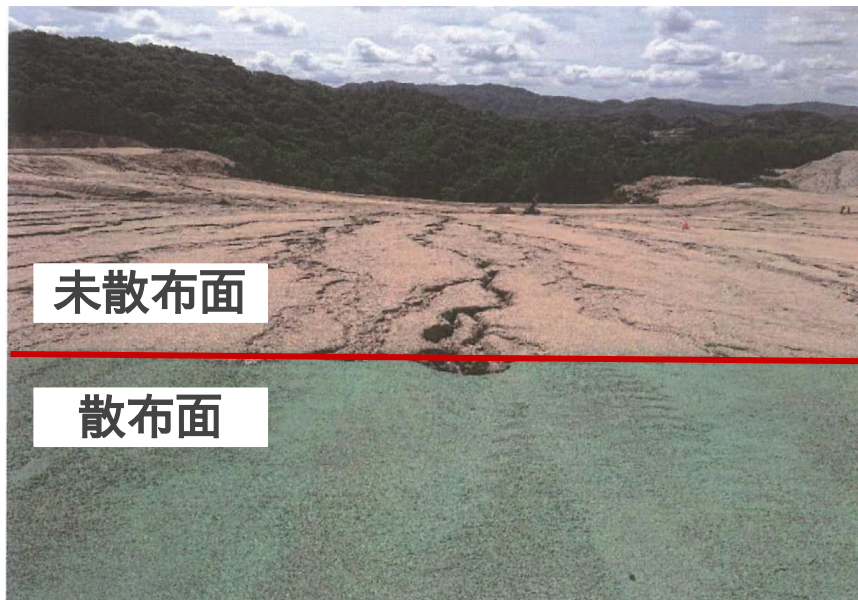
太陽光現場事務所



施工面積：A=300㎡

施工場所：大分県

赤磐市多賀地区太陽光発電所新設工事



施工面積：A=4,000㎡ 施工場所：岡山県赤磐市

発注者：JEFテクノス株式会社 様

糸引公園防塵処理工事現場



施工面積：A=12,810㎡（1期） A=9,000㎡（2期）

工事場所：兵庫県姫路市

発注者：兵庫県下水道局下水道整備室・公園整備課 様

番外編：オーストラリア



ブリスベン空港造成、シドニー空港造成等、多数実績があります。

オーストラリア国内空港での粉じん対策において「ストーンウォール」が**指定材料**として、**全ての空港で使用**されています。

目次

01



ストーンウォールとは

02



使用方法

03



施工経歴

04



安全性

安全性について

ストーンウォールを安心してご利用いただくために
安全性に関する試験を実施しております。

1

生態毒性試験

2

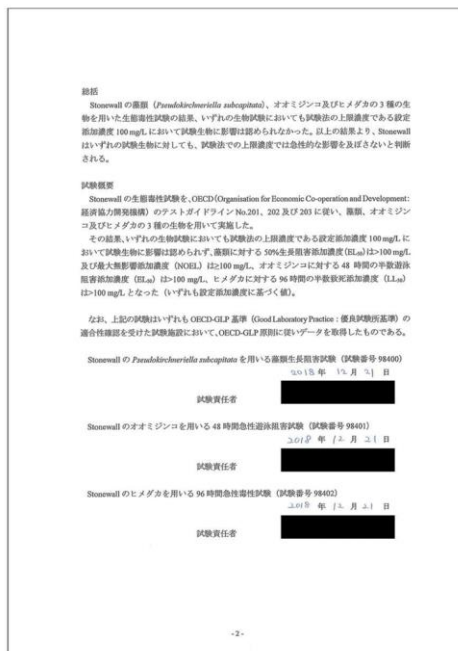
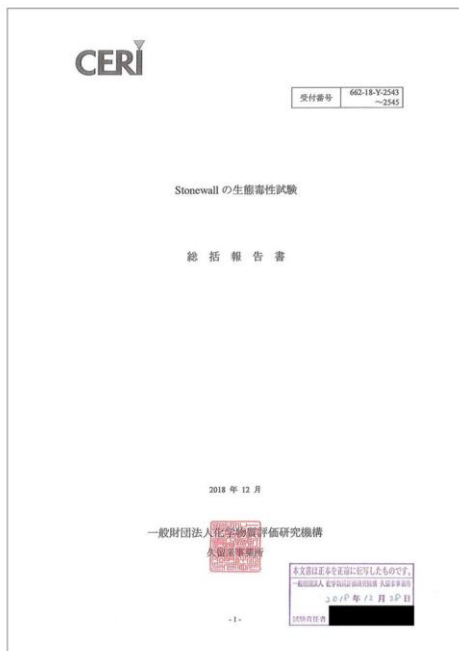
重金属検査

3

IECA(国際浸食管理協会)より受賞

①生態毒性試験

生態毒性試験結果報告書



藻類（ムレミカツキモ）、オオミジンコ、ヒメダカの3生態に有害な影響を及ぼさないと判断されました。

②重金属検査

重金属検査報告書



検査報告書

番号：CE/2020/31765A

日付：2020/03/13

ページ：2 of 4

株式会社エムプラス

〒672-8088 兵庫県姫路市姫路市飾磨区英賀西町2-7

測定結果

測定部位No.1

： 緑の液体

測定項目	単位	測定方法	MDL	結果	含有規範
				No.1	
カドミウム	mg/kg	IEC 62321-5 (2013)参照、ICP-OESで解析.	2	n. d.	100
鉛	mg/kg	IEC 62321-5 (2013)参照、ICP-OESで解析.	2	n. d.	1000
水銀	mg/kg	IEC 62321-4:2013+AMD1:2017参照、ICP-OESで解析.	2	n. d.	1000
六価クロム	mg/kg	IEC 62321-7-2 (2017)参照、UV-VISで解析.	8	n. d.	1000

備考：

1. mg/kg = ppm; 0.1wt% = 1000ppm
2. MDL = Method Detection Limit (方法検出下限値)
3. " n. d. " = 未検出 (<方法検出下限値)

全ての検査項目（カドミウム、鉛、水銀、六価クロム）において未検出であることが確認されました。

③IECA(国際浸食管理協会)より受賞

受賞エンブレム



IECAオーストラリアより
「浸食及び推積管理業界
への、革新・貢献・育成
優秀賞」を受賞されてお
ります。

よくあるご質問

Q

ストーンウォールはどのような成分ですか？

A

ポリスチレンとポリアクリル酸エステル混合物もしくは共重合物です。
※学会の論文においても、同様の内容を公表しております。

Q

散布に適した条件はありますか？

A

散布面が乾燥している状態での散布を推奨しております。
施工前日、当日、後日は降雨が無いことをご確認ください。

Q

散布面の劣化にはどのような要因がありますか？

A

主な劣化要因は紫外線、凍結、雨・風となります。
劣化した箇所は再度散布することで補強することが可能です。

お問い合わせ



092-832-3237



info@yoshiura-ltd.com



<https://www.yoshiura-ltd.com>

